

相模原市営斎場長寿命化改修・運営事業  
落札者決定基準

相模原市  
令和8年5月13日

## 《目 次》

<b>第1 本書の位置づけ</b> .....	<b>1</b>
1. 本書の位置づけ .....	1
2. 審査体制 .....	1
<b>第2 落札者決定の手順</b> .....	<b>2</b>
1. 審査方法 .....	2
2. 審査の手順 .....	2
3. 審査結果の公表 .....	3
4. 参加資格審査 .....	3
5. 基礎審査 .....	3
6. 入札価格の評価(価格審査) .....	3
7. 提案内容の評価(加点審査) .....	3
8. 総合評価点の算定 .....	7
<b>第3 落札者の決定</b> .....	<b>7</b>

## 第1 本書の位置づけ

### 1. 本書の位置づけ

相模原市（以下「市」という。）が相模原市営斎場長寿命化改修・運営事業（以下「本事業」という。）を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を募集及び選定するに当たり、入札参加者を対象に公表する入札説明書と一体のものである。また、本書は、事業者選定に当たって、入札参加者のうち最も優れた提案を行った者を客観的に評価し選定するための方法、基準等を示すものである。

### 2. 審査体制

審査は、学識経験者等の外部委員4名及び市の職員1名から構成する相模原市営斎場長寿命化改修・運営事業事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置して行う。

氏名	所属等
川崎 一泰	中央大学総合政策学部 教授
吉川 徹	東京都立大学大学院都市環境科学研究科建築学域 教授
苗村 俊	苗村俊公認会計士事務所 公認会計士
木村 顯	元横浜市職員・元横浜市北部斎場長
井上 美紀	相模原市市民局 局長

敬略称

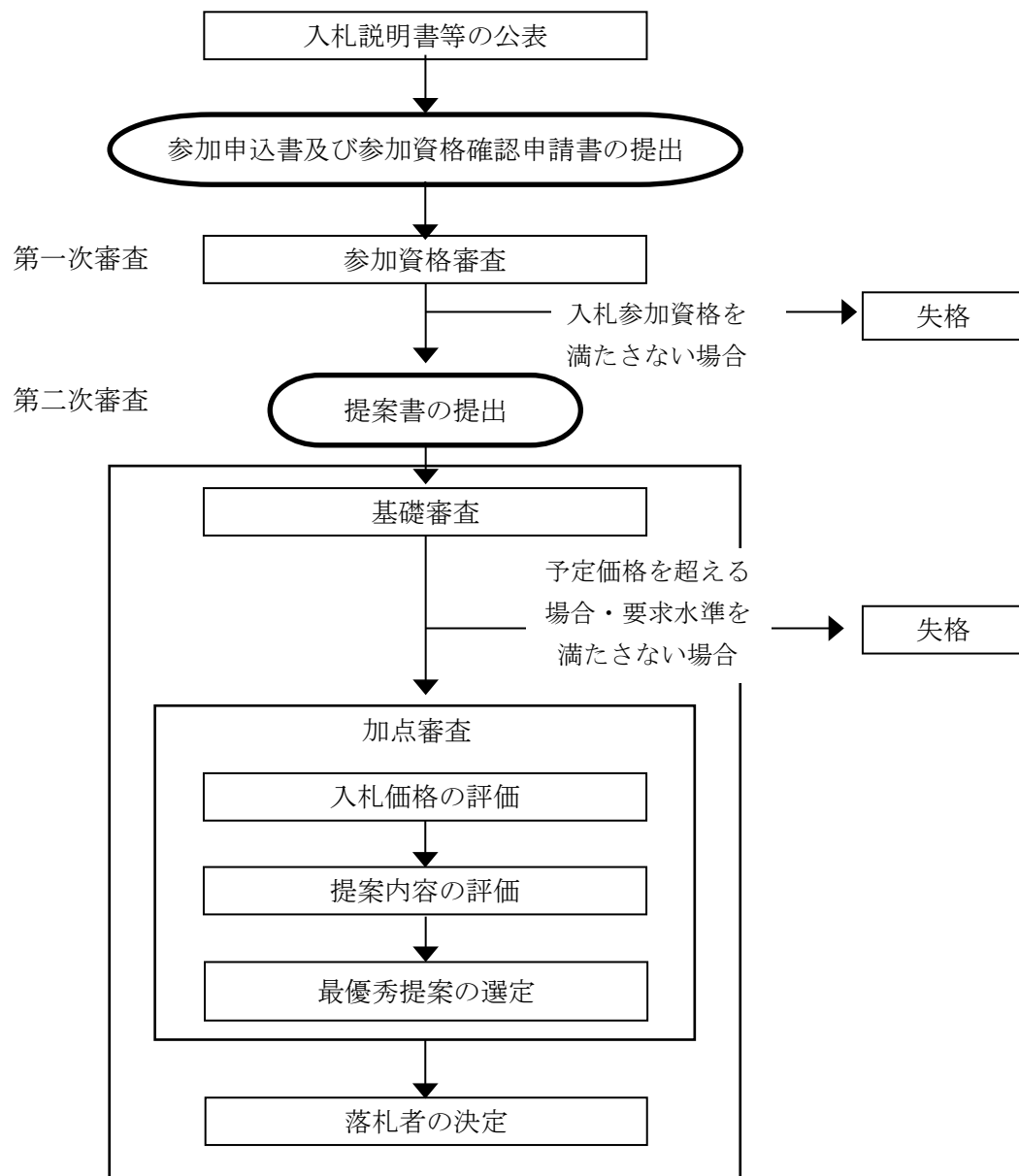
## 第2 落札者決定の手順

### 1. 審査方法

本事業を実施する事業者は、本施設の設計、建設及び運営を通じて、効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供が求められる。したがって、事業者の選定に当たっては、入札価格のほか、事業者の有する高度な能力やノウハウ等の入札価格以外の要素を加えて総合的に評価し落札者を決定する「総合評価一般競争入札方式」を採用する。

### 2. 審査の手順

落札者決定の手順は、次に示すとおりである。



### 3. 審査結果の公表

資格審査の結果は、各入札参加者に個別に通知する。提案審査の結果については各入札参加者へ個別に通知するほか、結果の概要を市のホームページに公表する。

### 4. 参加資格審査

市は、入札参加者から提出された参加資格審査申請書類により、入札説明書に記載した入札参加者が満たすべき参加資格要件の具備を確認する。確認の結果は、入札参加者の代表企業に対し通知する。なお、参加資格要件の具備が確認できない場合は失格とする。

### 5. 基礎審査

市は、入札参加者から提出された入札提案書類が本書に示す基礎審査項目を満たしているか否かを審査する。確認の結果は、入札参加者の代表企業に対し通知する。基礎審査項目について、1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された場合、当該入札提案書類について加点審査を行う。

### 6. 入札価格の評価（価格審査）

価格点は30点満点とし、以下の方法で得点化する。

$$\text{価格点} = 30 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

### 7. 提案内容の評価（加点審査）

#### (1) 審査方法

選定委員会は、入札参加者から提案された提案内容について、総合的に審査を行う。入札価格以外の提案内容については、下記(2)の評価項目に基づき、(3)の得点化方法により内容点を算出する。

#### (2) 評価項目及び配点

提案内容の評価項目及び配点については、市が本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定したものである。

表 提案内容の評価項目及び配点

●:評価項目内において比重の大きい内容

評価項目		配点
1 施設改修業務に関する事項		32
(1) 施設計画		8
①建築・外構 ・快適性 ・長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炉前ホールの改修における円滑な運営や利用者ニーズに対応したレイアウト計画について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 故人を荘厳かつ厳粛に見送るのに相応しい施設内外装計画について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	8
②建築設備 ・長寿命化 ・維持管理の容易性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全性・耐久性・オーバーホール等の効率性を確保した設備の計画について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 環境配慮・省エネルギー性に配慮した設備の計画について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	
③火葬炉設備 ・長寿命化 ・維持管理の容易性 ・運営の効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイオキシン類、ばい煙、排水、悪臭、騒音等の周辺環境に十分配慮した設備計画について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 安全性・耐久性・オーバーホール等の効率性に優れた火葬炉・火葬炉設備の導入計画について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	
(2) 改修工事計画		24
①施工計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改修工事期間を可能な限り短くすることに関する提案がなされているか</li> <li>●施設を運営しながら改修工事を実施するための効率的かつ確実な工事工程計画の考え方について、優れた提案がなされているか</li> <li>●火葬炉機能の停止日及び式場の休館日をできるだけ短くする積極的な提案について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	8
②安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を運営しながら工事を行うにあたっての利用者の安全確保のための方策について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 周辺道路の安全確保方策（工事期間中の利用者駐車 of 適切な誘導、重機や大型車両の通行に当たっての周囲の安全確保等）について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 工事期間中における火災や地震等の災害発生時を想定したハード面での安全確保方策について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	8
③利用者および周辺住民への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を運営しながら工事を行うにあたり利用者に対する騒音・振動への配慮等、快適性・利便性に配慮した葬送空間の創出について、優れた提案がなされているか</li> <li>●周辺住民に対する騒音・振動等の抑制方策について、優れた提案がなされているか</li> <li>・ 工事実施に関する周辺住民に対する周知方法や信頼構築につながる方策について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	8

<b>2 維持管理業務に関する事項</b>		<b>10</b>
(1) 建築・建築設備管理計画 ・ライフサイクルコストの縮減 ・モニタリング	・建築・建築設備のライフサイクルコストの縮減を可能とするための方策について、優れた提案がなされているか ・業務水準の維持及び改善を図るための適切なモニタリング方策について、優れた提案がなされているか	6
(2) 火葬炉設備管理計画 ・ライフサイクルコストの縮減 ・モニタリング ・環境配慮	・火葬炉設備のライフサイクルコストの縮減を可能とするための方策について、優れた提案がなされているか ・業務水準の維持及び改善を図るための適切なモニタリング方策について、優れた提案がなされているか ・排ガス等処理基準の順守ほか、環境配慮に当たっての方策について、優れた提案がなされているか	
(3) 施設全体管理計画 ・施設の長寿命化 ・施設の引渡し	・事業期間中に中規模改修が発生しないような性能及び機能の維持のための方策（運転・監視、点検、保守、修繕、更新等）について、優れた提案がなされているか ・事業期間終了時に、適切な状態で市に引き渡すための方策について、優れた提案がなされているか	4
<b>3 運営業務に関する事項</b>		<b>20</b>
(1) 建築改修業務等期間中の体制等 ・火葬タイムスケジュール ・事業実施体制	●建築改修業務等期間中の火葬予約枠数の確保方策について、優れた提案がなされているか ・工事しながら利用することを考慮した運営を実施するための体制や誘導について、優れた提案がなされているか ・工事の実施工程やスケジュールを踏まえた火葬スケジュール設定について、優れた提案がなされているか	8
(2) 建築改修業務等期間後の体制等 ・火葬タイムスケジュール ・事業実施体制	●建築改修業務等期間終了後の火葬予約枠数の確保方策について、優れた提案がなされているか ・効率的な運営を実施するための体制について、優れた提案がなされているか ・事業期間を通じた業務従事者の育成（スキル向上、離職防止）方策について、優れた提案がなされているか	8
(3) 斎場利用者に配慮した運営対応 ・利用者の安全性確保 ・快適性確保	・運営上のミスやトラブルの予防方策について、優れた提案がなされているか ・利用者の心情に配慮した適切な接遇方策について、優れた提案がなされているか ・利用者のニーズを把握し反映するための方策について、優れた提案がなされているか	4
<b>4 事業全体に関する事項</b>		<b>8</b>
(1) 事業実施体制	・事業期間にわたり事業を確実に実施するための体制（企業間の役割分担や連携、市との連携）について、優れた提案がなされているか ・施設を運営しながら工事を行うにあたり、一体事業で実施することを活かした企業間連携の考え方について、優れた提案がなされているか ・本事業を適切に実施するための経験やノウハウ、財務上の安定性を有した適切な企業構成等について、優れた提案がなされているか	4
(2) 安定性確保方策 ・リスク管理	・不測の事態の発生時においても、事業を継続できる仕組みや体制について、優れた提案がなされているか	4

・災害対策	<p>か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間を通じて（特に改修期間中について）、想定される具体的な事業リスクを抽出した上で、リスク管理体制（保険付保等）および対応策について、優れた提案がなされているか</li> <li>・災害時の確実な初動対応（施設利用者の避難誘導体制、火葬実施体制等）や事前の備え（職員訓練等）の方策について、優れた提案がなされているか</li> </ul>	
合計		70点



### (3) 提案内容の得点化方法

提案内容について、上記（２）の評価項目ごとに得点を付与する。提案内容の評価項目及び評価ポイントは上記（２）に示すとおりとする。なお、提案内容の評価項目について、下表に示す３段階評価に基づき各項目の評価を行う。

表 加算審査における評価項目及び配点

評価	判断基準	得点化方法
A	要求水準を大きく上回る	配点×1.00
B	要求水準をやや上回る	配点×0.75
C	要求水準と同等である	配点×0.50

### 8. 総合評価点の算定

内容点と価格点を合計した値【各委員による内容点の合算点と価格点を委員人数で乗じた点の合計点】を委員人数で除した点数を総合評価点とし、当該総合評価点が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価点が同点の場合は、内容点が最も高い入札参加者を最優秀提案者とする。内容点も同点の場合は、重要項目（表 提案内容の評価項目及び配点において●で示す項目）の得点が高い入札参加者を選定する。重要項目の得点も同点の場合は、入札参加者によるくじ引きで最優秀提案者を選定する。

点数化の際は、小数点第３位を四捨五入し、小数点第２位までを求める。

$$\text{総合評価点（100点満点）} = \text{内容点（70点満点）} + \text{価格点（30点満点）}$$

## 第３ 落札者の決定

市は、選定委員会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。落札者が決定した際には、その結果を市の公式ホームページで公表する。